

対タジキスタン草の根・人間の安全保障無償資金協力

イスタラフシャン市ポシュケント地区セプラ村温室栽培施設建設計画供与式報告

平成28年7月3日、「イスタラフシャン市ポシュケント地区セプラ村温室栽培施設建設計画」の供与式がイスタラフシャン市で行われました。供与式には、イスタラフシャン副市長、ポシュケント地区長、地元の農業従事者をはじめとする地域の人々が参席しました。

イスタラフシャン市は、首都ドウシャンベより北へ車で約4時間の場所に位置します。本計画対象サイトとなったセプラ村は寒さが厳しい為、冬期は農作物が育ちにくく、市場での農作物の流通量が著しく減少し価格が高騰していました。また、安全な飲料水・生活用水を得る手段がなかった為、地元住民は雨水や用水路の水に依存している状態でした。今般本計画を通して温室栽培施設が建設されたことにより、冬期の農作物の価格の高騰、農家の収入の減少などの問題が改善されました。さらに、井戸を掘削したことによりセプラ村の200世帯が安全な飲料水・生活用水を利用することが可能となりました。

供与式典中、イスタラフシャン副市長より日本の支援に対する大きな感謝の意が述べられると、供与式に集まった人々から大きな拍手が送られました。



沖本書記官のスピーチ後、地域の人々から感謝の拍手が送られました。



温室栽培施設では多くの野菜が栽培されています。



イスタラフシャン副市長より、温室栽培施設についての説明を受ける様子。



温室栽培施設の外観。